

第1学年 道徳科 学習構想案

日 時 令和5年6月21日（水）第2校時
場 所 1年教室
指導者 1年担任

1 学習構想

主題名	親切な心で（内容項目 B-(6):親切、思いやり）	
ねらいと教材	(1) ねらい おおかみの行動が、くまの優しい行動に触れ変化していくことを通して、自分たちも身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 (2) 教材名 はしのうえのおおかみ 出典（東京書籍）	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	問題に直面した際の言動やその判断の根拠について、親切さという点から多面的・多角的に考えようとしている。	自分の中にある親切さについて振り返り、これまでの自分の言動と重ね合わせながら考えようとしている。
目ざす児童の姿		
自分の心の中にある親切さを確かめながら、他者に対して親切にしようとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）		本主題で働かせる見方・考え方
親切にしたとき、されたとき、どんな心をもって行動するとよいのか。		親切さについて多面的・多角的に考え、自分の行動とくらべながら、自己の生き方について考えを深めていくこと。
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）		
本教材「はしのうえのおおかみ」は、主人公のおおかみが、うさぎたちを相手におもしろがって意地悪を続けるが、くまに親切にされ、自分の行為を振り返り、優しい心で親切にする話である。おおかみの行動や心情の変化を多面的・多角的に考えることを通して、本当の親切や思いやりについて考えることができる教材である。 本教材を活用した授業においては、おおかみが、くまの後ろ姿を見送りながら何を考えていたかを中心発問として考えることを通して、児童の多様な価値観を引き出しながら、親切にしたい、思いやりのある行動をしたいと思う児童の心情を育てていきたい。		

2 校内研究に関連して

《視点1》 【何を身につけるのかを明確にした授業づくり】	《視点2》 【自分の考えを持てるように、個に合わせた手立て、交流する場に関する取組】
○単元デザインの工夫 ・「やさしいことばをかけよう6月」をキャッチフレーズに、国語科や生活科、人権旬間の取組と関連した指導を行う。 ○学習過程の工夫 ・アンケート結果を活用し、現在の児童の考えを共有し、問題意識をもって授業に臨めるようにする。 ・学習課題を「どうして親切にしたいのか。」とし、まとめでは「大切な心掲示板」を活用しながら、児童の言葉でまとめるようにする。	○「親切だと思う・親切だとは思わない」の選択制で、自分の考えをネームプレートで示すようにする。 ○「気持ちのバロメーター」の度合いについて、ペアで伝えあう活動を行う。 ○話し合いでは、「いいと思います。」「似ています。」「分かりました。」という言葉を使いながら反応するようにする。 ○「親切だと思う・思わない」の理由を対比して板書し、それぞれの考え方の相違点を分かりやすくする。また、自分と異なる考えについて変化したか、確認していく。

3 本時の学習

(1) ねらい

くまに出会い、変化したおおかみの気持ちを通して、親切は自分だけでなく、相手も優しい気持ちになることに気付き、身近な人を思いやり、誰に対しても温かく優しい心で接しようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇: 予想される児童の発言)	指導上の留意点 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)				
導入 (課題と出会う)	5	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>(1) 「親切にしてもらってうれしかったこと」について考え、本時の学習課題を設定する。</p> <p>◇一緒に遊ぼうと言ってくれた。 ◇ブランコをかわってくれた。</p> <p>【学習課題】 どうして、しんせつにしたいのか。</p> <p>(2) 教材「はしのうえのおおかみ」の概要をつかむ。</p> <p>◇おおかみは意地悪だな。 ◇くまさんは強いのに、なぜおおかみに優しくしたんだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な学校生活の中で、友達に優しくされたことについてアンケートを活用し、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図り、本時の学習課題につなげる。 学習課題の提示後に、教材「はしのうえのおおかみ」と出合わせ、登場人物やおおかみの意地悪さ、くまの優しさの場面について簡単に紹介することで、教材の中に描かれている問題に気付かせ、中心発問につなげていきたい。 				
展開 (課題について話し合う)	30	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>○おおかみは親切だと思いますか。そのわけも教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">親切だと思わない。</td> <td style="width: 50%;">親切だと思う。</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> うさぎたちに意地悪をしたから。 威張っているから。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 始めは親切じゃなかったけど、変わった。 最後にうさぎに優しくしてあげたから、親切な人に変身した。 </td> </tr> </table> <p>○うさぎたちに意地悪をしたとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◇えへへ、おもしろいぞ。 ◇意地悪は楽しいな。</p> <p>○くまに会ったとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◇くまさん、大きくて強そうだな。</p> <p>◎くまの後ろ姿を見送りながら、おおかみはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>◇どうしてくまさんは、威張らないんだろう。 ◇くまさん、優しいなあ。 ◇あれ、どうしておれ、うれしいんだ。 ◇うさぎさんたちに悪いことしたな。 ◇おれも、みんなにやさしくしてみよう。</p> <p>○うさぎをおろしたあと、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◇嬉しい。 ◇くまさんみたいに、優しくすることができた。</p> <p>しんせつは、されたひと、するひと、いいきもちになる。</p>	親切だと思わない。	親切だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> うさぎたちに意地悪をしたから。 威張っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めは親切じゃなかったけど、変わった。 最後にうさぎに優しくしてあげたから、親切な人に変身した。 	<ul style="list-style-type: none"> おおかみが親切かそうでないか、自分の考えをきちんと考えさせることで、おおかみの気持ちの変化に全員が気付くことができるような発問を行う。 自分や友達の考えが視覚的に分かるように、黒板にネームプレートを貼るようにする。 【自己決定】 おおかみの気持ちを考えさせるとともに、うさぎたちの気持ちを考えさせるようにする。 相手によって態度を変えるおおかみの言動に気付かせる。 くまの優しい行動にふれ、親切にされて嬉しいおおかみの気持ちを捉えることができるように、教師がくま役、児童がおおかみ役の役割演技を行い、多面的・多角的に考えられるようにする。 【価値理解】 おおかみの気持ちを感じ取ることができるように、代表児童が演じているときは、見ている児童もおおかみの気持ちになって演技を見守るようにさせる。 自分も相手もいい気持ちになることを感じ取ることができるように、資料前場面と比較しながらおおかみになって役割演技をする。 【人間理解】 おおかみの心情を捉えやすくするために、気持ちを色で表現する。 おおかみの気持ちを自分のこととして考えさせ、「気持ちのパロメーター」で気持ちの度合いを示すようにする。全体の話し合いの中で、自分と違う考えを持つ人がいることを感じさせる。 【主体的な学び】
親切だと思わない。	親切だと思う。						
<ul style="list-style-type: none"> うさぎたちに意地悪をしたから。 威張っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めは親切じゃなかったけど、変わった。 最後にうさぎに優しくしてあげたから、親切な人に変身した。 						
終末 (見つめる)	10	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>○今までの自分を振り返り、これからどうしていきたいか考えよう。</p> <p>◇今までは、友達に意地悪をしていたけど、これからは、くまさんのように、優しくしていきたい。</p> <p>◇友達に親切にすると、自分も友達も幸せな気持ちになるから、今までよりもっと親切にしていきたい。</p> <p>○学校生活で、親切にしている場面のスライドを見る。</p> <p>◇親切にすると気持ちいいね。 ◇親切にされたら嬉しいね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今までの自分の行動を振り返ったり、友達と生活する中で気を付けていきたいことについて書いたりしている児童に発表させる。 【自己の生き方】 学校生活の中で、親切にしている児童の姿をスライドで見せ、導入での内容と合わせながら、親切の意味について考える。 				

【評価の視点1】 親切さという点から、友達の発表や役割演技を通して多様な視点からよさや大切なことについて考えている。
(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 自分の中にある親切にすることの大切さを今までの経験など、自分との関わりの中で捉え、考えている。
(方法：発言・ワークシート)